



深山たかし

発行元：深山たかし後援会
上尾市大字上1774-7
048(776)0575
ホームページ

fukayama.net

”深山たかし”でも閲覧できます。

議会レポート

上平地区の都市基盤整備

上平第二地区まちづくりは、上平小学校北側一帯の地域で、私が議員になる前からの懸案事項でした。

長い時間を掛けて、関係された皆さんのご苦勞が形になってきました。

★上平第二地区の街づくり協議会の活動状況、街づくりの方針、今後の予定などについて、答えてください。

上平第二地区の街づくり協議会につきましては、平成二十二年に設立され、現在、各事務区長及び住民の代表者計二十二名で活動しております。平成25年には「上平第二

地区街づくり計画」を策定し、道路環境の改善など、住民と市の協働による街づくりを進めてまいりましたが、現在、この計画を更に実行性を高めるために、法的に位置づけのある地区計画へ移行させる準備をしており、来年度中には計画決定し、協議会を解散する予定です。

★街づくりには、社会資本整備いわゆる道路・下水道・公園などの整備が必要不可欠ですが、街づくり活動と合わせて、順次下水道が整備されていると聞いています。

上平地区での下水道整備状況ならびに市街化区域に隣接している地域の下水道整備について答えてください。

域に隣接している地域の下水道整備について答えてください。

一点目、「上平地区の下水道整備状況について」ですが、上尾市においては平成二十九年度末の整備予定面積としては、上尾市全体面積の約五十五％に当たります約二千三百ヘクタールです。

整備人口といたしましては約十八万七千人を超える市民の方々が利用できるようになり、普及率を整備人口で申し上げますと、約八十二％です。

上平地区においては、都市計画マスタープランで街づくり推進地区として位置づけられている上平第一地区は平成十三年度に事業着手し、平成二十四年度に整備が完了しております。また街づくり協議会が設立されております上平第二地区につきましても、平成二十六年度に事業着手し、平成二十八年度に整備が完了

しています。

二点目、「市街化区域に隣接している地域の下水道整備について」ですが、将来の下水道事業における安定かつ持続的な経営を図る目的から、公共下水道と合併処理浄化槽との合理的かつ適切な区域区分を定め、平成二十八年度十二月に「上尾公共下水道全体計画区域」の見直しを行いました。整備にあたりましては、市街化区域からの距離など一定の条件を満たす市街化調整区域の地区、約五十六ヘクタールを今後整備して参ります。

なお整備地区の詳細につきましては、市ホームページに掲載している全体計画区域図でご確認いただけます。

公報について

常々、上尾市は宣伝が下手だと感じていましたので「広報活動」について質問しました。

★本年、上尾市は市制施行六十周年を迎えます。現在、『広報あげお』は、表紙と裏表紙がカラーで、中見は二色刷りとなつていますが、フルカラー化も含め、より魅力ある広報誌へとイメージチェンジする絶好のタイミングではないでしょうか。

以前、『広報あげお』は、A三番に近い大きさのタブロイド判だったと記憶していますが、現在のA四判に変わった経緯を答えてください。

平成十二年七月号から発行されたタブロイド判は、新聞紙の約半分の大きさとなるため、読者である市民の皆様から、配布しづらい、保管がしづらいなどの声が多く寄せられたことを大きな理由に、平成十九年十月号より、現在の

A四判へと変更しました。

★今までの誌面刷新へ向けた取り組み状況と、今後、誌面を刷新する予定があるか答えてください。

平成十九年十月のA4判化に伴い大きく誌面を刷新して以降は、「未来へすすすく！わが家のアイドル」コーナーの新設などの軽微な改訂を行いつつ、平成二十六年五月号からは、表紙と裏表紙のカラー化を実施しました。

これは、最初に目にする表紙をカラーにすることにより、幅広い世代に興味をもっていただけるよう改訂したもので、同時に、見やすく読み間違えにくいユニバーサルフォントの採用や、「イチ面」「あげたて！NEWS」などの新コーナーを開始しています。

今後の誌面刷新の予定ですが、全ページカラー化を実施するには年間で一千万円近い経費の増加が見込まれることから、フルカラー化は難しいと考えておりますが、今ある誌面を有効に使えるよう職員

でアイデアを出し合いながら、より読んでいただけるような紙面作りには励んでいきます。

★上尾市のシティセールスに

★羽生市は、小中学生がプレゼンテーション能力を競う「全国プレゼンテーションコンテスト」を開催し、市が持つ材料を最大限に活用して、シティセールスへと結びつけています。

また、全国的にも有名な「ムジナモン」とそのファミリーを全面に出したPR冊子を作成するなど、さまざまな切り口から、市の魅力を全国に発信しています。ますます激しくなる都市間競争を生き抜くには、このような取り組みが、今後、さらに重要になってくると考えます。

そこで、シティセールスについて質問します。

ついて、今までの取り組み状況と今後の予定を答えてください。

本市のシティセールスの今までの取り組み状況でございますが、平成二十八年一月に「上尾市シティセールス戦略」を策定し、これに基づき各種施策を実施しているところでございます。本戦略では、「家族の夢はあげおで叶う」をスローガンに掲げ、推進体制の確立、魅力の創出、情報発信の強化を推進方策と位置づけ、各課が実施している事業を積極的PRするとともに、さまざまな独自の事業も実施しております。一例を申し上げますと、平成二十七年には本市をPRするプロモーションムービーの作成、また平成二十七年から平成二十九年度までの三年連続で電車内PR広告の掲出、平成二十八年度は、JR上尾駅への情報発信モニター設置、上尾版『ことりつぷ』の発行、今年度は、映画館でのプロモーションムービーの上映を行いました。

た。今後は、定住促進事業と並行しながら、平成三十年度予算にも計上しております、シティプロモーション冊子の作成・配布や広告掲載などを実施していく予定です。

★羽生市のような、郷土愛を醸成し、市の魅力を発信できるようなイベントを開催する予定や考えがあるかを答えてください。

市の魅力を発信できるようなイベントの開催についてでございますが、上尾のイメージアップを図るためには、強く市外に向けて本市のアピールをしていくことは必要であるため、シティマラソンやあげお花火大会など市外からも多くのお客様が訪れる大規模なイベントをさらに魅力的なものに昇華させ、市のPRに努めていくとともに、今後は、羽生市の取り組みも参考にしながら、上尾らしいイベントや事業なども検討したい。